

国の農商工連携事業

「米粉ホットケーキキミックス」認定

国の本年度第4回農商工等連携事業に美濃加茂市と関市の業者による「米粉ホットケーキキミックス」の製造販売事業が採用され18日、名古屋市内で業者に認定書が贈られた。

米などを生産する関市塔ノ洞のプログレス社片岡篤夫社長(56)と美濃加茂市加茂野町の製めん業桜井食品社

美濃加茂、関の業者が商品化



桜井芳明社長(61)がき上がりの見た目は共同で商品化した。焼小麦粉のホットケーキ

長と宮川正中部経済産

と変わらず、もっちりした食感が特徴という。

「米粉ホットケーキキミックス」が国の農商工等連携事業に採用された片岡篤夫プログレス社長(左)と桜井芳明桜井食品社長(名古屋市中区)

業局長からそれぞれ認定書が贈られ、片岡社長は「農業の活性化になるし、ホットケーキなら世界中で食べてもらえる」、桜井社長も「地元の米を使うから安心、安全な商品。中濃地域の道の駅で販売し、年間500万円の売り上げが目標」と話していた。

同連携事業は2年前に始まり、今回を含め東海3県で37件が認定された。

(鷲見啓二)